

K S K 通信

特定非営利活動法人 甲斐駒清流懇話会

令和3年4月発行

NPO法人甲斐駒清流懇話会

発行責任者 遠山

408-0315 北杜市白州町台ヶ原159-5
山村広場休憩室内

昭和34年・57年に台風による土石流災害で被災した武川・白州地域を舞台にして防災思想と環境教育の普及を目的とした活動を行う甲斐駒清流懇話会は平成11年に「白秋・武川の溪流環境を考える会」として発足し、のちに甲斐駒清流懇話会と名称を変えて、「溪流環境をよりよいものにしていく」「溪流の価値や機能について知識を深めていく」「過去の土砂災害の爪痕を記録し、継承していく」ことをテーマに地域住民はもちろんのこと県民誰もが参加できる団体として活動を推進してきました。国土交通省富士川砂防事務所、山梨県や北杜市などの行政関係者、学識経験者、地元企業とともに共同で活動を行っています。

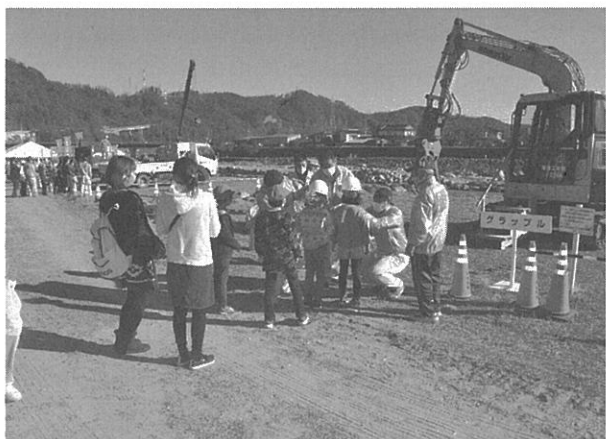
平成22年に特定非営利活動団体としてNPO法人になりました。地域の子供や市民に環境教育と防災思想の普及、自然災害から地域の人々を守り、生活の安全を考え、地域の発展のために尽くす活動を計画、毎年小学校の児童と父兄とともに校外学習を行っています。さらに防災思想の普及活動として防災フェアーを大武川の堰堤やはくしゅう道の駅などで実施しています。平成27年度からは北杜市南アルプスユネスコエコパークの活動に協力しています。当会の活動はすべて北杜市から環境保全基金、関東地域づくり協会から助成金、砂防ボランティア協会から助成金を受けて行っています。

令和2年は思わぬコロナ禍の影響を受けて、主な活動は自粛を余儀なくされ、活動は思うような成果を上げられませんでした。会員は模索し、不自由ながらできる範囲の環境活動を行ってきました。令和3年度も20余年余りの活動を絶やすことなく継続し、自然災害から身を守るための環境学習や美しい溪流環境を保全するための活動や地域の発展のために尽くす努力を惜しみなく発揮できるよう会員一同願っています。

○令和2年度 砂防校外授業が開催されました。

毎年大武川・災害復興記念公園にて白州・武川地域の小学校の3年生の児童とその親を招いて、災害の歴史を学び防災の関する環境教育を行っています。今年はコロナの影響を受けて従来の夏には開催できず、時間と内容を短縮して11月23日に開催することになりました。21回目の校外授業はコロナ感染防止のための消毒やマスク着用、グループの少人数制などに気を配り、授業時間を短くして開始しました。土砂災害を伝えるビデオ鑑賞とともに被災体験者からの談話や起震車に乗って地震体験をしたり災害で活躍する大型重機への試乗など、短い時間ながら児童と保護者が参加したこの授業は大変貴重な時間だったと参加した児童や父兄からの感想からも伺えました。この活動は武川・白州小学校の毎年の恒例行事となっており、校外で学ぶ実践を伴う環境教育として期待されています。通常はドローンの飛行見学や川に棲むイワナやヤマメなどの魚の説明や放流も行い、自然災害体験車や重機への試乗や被災体験

者からの講話などを聴き、災害について多くのことを学びます。最後に参加者全体の記念撮影も行いました。今年度の参加数は生徒 38 名とその保護者等約 40 名でした。この事業は毎年、富士川砂防事務所や山梨県水産技術センターの協力を得て北杜市の環境保全基金の助成で開催しています。



砂防校外授業



砂防校外授業

○令和2年度「防災フェア & 甲斐駒清流ウオーク・フォトラリー」を開催

令和2年11月24日、大武川 防災復興記念公園にて防災フェアを開催しました。

武川・白州に起きた台風災害の歴史を学び、伝承するとともにビデオで最新の災害の様子を鑑賞し、被災体験者からの体験談を聞き、自然災害関連の防災思想の普及を図るため、自然災害体験車・降雨体験車の試乗を行い、参加者はさまざまな場面で災害について学習をすることができます。今年はコロナ禍の影響を受け、従来の土砂災害防止月間の6月に開催できず、やむを得ず11月24日に「はくしゅう道の駅」の構内で開催しました。幸いにも「はくしゅう道の駅」は防災拠点としての役割を担うことになっており、内容的にもマッチした事業となり、一般来客に参加してもらえると期待しましたがやはりコロナの影響で令和2年度の参加者は僅かでした。それでも当日の会場内では地元の特産の野菜や甘いトマトやパンなどの販売もあり、参加者は学びながら楽しいひと時を過ごすことが出来ました。昨年に引き続きフォトラリー希望者にマップを配布し、自由に白州・武川地域の自然景観を楽しみながら名所旧跡を歩いてもらいました。

フェア参加者約 50 人でした。



防災フェア



防災フェア

○溪流魚と触れ合う溪流祭り 中止

毎年、7月～9月の土曜日に道の駅はくしゅうの構内で開催する溪流祭りは子供たちと溪流魚(ヤマメ)とのふれあいを通じて溪流環境やそこに棲む生物を知ることがを目的に開催していますが今年は中止しました。開催場所のはくしゅう道の駅の構内の東屋の屋根を改装し、間伐材で作るテーブルや椅子の取り換え作業を実施しました。

毎年、この場所で開催される溪流祭りは観光客や地元の子供たちが日ごろ触れ合えない、綺麗な溪流に棲むというヤマメを捕まえ、味わうことのできる楽しいひと時です。観光客、地元の子供達を含め、毎年参加者は計約300余名います。令和3年度も従来通り、7月～9月開催を予定しています。



溪流祭り



溪流祭り

○新しい川づくり委員会

令和2年度の人工産卵河川のメンテナンスは中止

小武川の源流域に造成されたヤマメやイワナのための人工産卵河川は平成19年に当会と富士川砂防事務所と峡北漁協と山梨県水産技術センターの共同で造られました。その小川ではイワナやヤマメの産卵があり、成果が上がっていましたが、昨年の台風による豪雨被害を受けて崩壊してしまいました。現在流域に生息する魚のために再び産卵河川を再建するための努力をしています。

河川美化活動 (大武川堰堤)

大武川堰堤の草刈りや環境整備を実施しました。従来はイベントの準備のために事前に数回行う作業ですが、今年度は2度になりました。



草刈り



草刈り

県外の先進地事例見学会の中止

昨年は八ッ場ダムへ県外研修に出かけましたが、令和2年度はコロナ禍での県外への行動は自粛のため中止にしました。

地域活動に参加予定の台ヶ原宿市も中止

以前から台ヶ原地区で開催される宿市に参加しており、10月の開催日には会員一同、手作りのお食事処などを開いていました。会員が地元で栽培している大根、サト芋、ニンジン、ネギなどの野菜を持ち寄って芋汁を作り、地元から毎年採取した野生のキノコを提供して頂いて、マツタケや香茸などの入ったおいしいキノコご飯等を予定していました。会員も楽しみながら、街づくりのイベントに協力しています。今年は本当に残念でした。

○令和3年度の事業予定

5月 総会

6月~~4~~日(金) 砂防郊外授業 開催 11月12日(延期)

6月~~4~~日(土) SABO防災フェアと甲斐駒ウオーク 開催 中止

7月31日、8月21日、9月18日 中止

溪流祭り 開催

10月 県外被災地見学会 開催 中止

10月 台ヶ原宿市 参加 中止

○会員・賛助会員を募集しています。

当会の趣旨に賛同し、私達の活動に参加して下さる方を募集しています。会員になって会の運営や企画に参加くださる方を歓迎します。希望者は下記にお申し込み下さい。また賛助会員(サポーターズ会員)は様々なイベントに参加し活動を応援して下さる方を募集しています。入退会は自由です。どなたでもいつでも歓迎いたします。

申込先 〒408-0312 北杜市白州町台ヶ原159-5 山村広場休憩室内

NPO法人 甲斐駒清流懇話会事務所 又は

Faxで 055-253-8779 (連絡先 事務局 遠山)

会員年会費 個人会員3,000円 法人会員10,000円 (入会金 1,000円)

賛助会員 個人1,000円から。法人10,000円から